褐斑病・うどんこ病複合耐病性品種

ハウス用きゅうり

【KSH 63】

【特性】



1，雌花率：　（夏季・・・50％）
　　（冬季・・・80％）

2，果実は２２㎝、整形果で果形の安定性が非常に良い。

3，子づるストレートのつる下ろしタイプ。
11月下旬から連続着果となり、収穫位置も上がる。

4，実の肥大は良く、実だまりしにくい。

5，うどんこ病・褐斑病の耐病性品種

6，摘芯栽培、越冬つる下ろし栽培向け

【作型】　定植期 →　　収穫期 ▬

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
半促成		→	▬	▬	▬	▬	▬	▬				
促成	▬	▬	▬	▬	▬	▬		→	→	→	→	→

【栽培管理】

定植後の活着をスムーズに行う事が大切で、活着後勢いが出始めまでは、こまめに潅水し勢いよく生育させる。ハウス内の湿度管理に注意（過乾燥にしない）しながら生育させる。
雌花が２本程度肥大始めたら、株元へ潅水を行い果実肥大を促してやる。
この時一度に多量の潅水を施すとバランスを崩すことになるので、徐々に潅水量を増やして行くようにする。収穫期間は肥切れにならないように注意する。

朝日アグリア株式会社　　株式会社 久留米種苗園芸